

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

都市建設課

| | |
|----------|---|
| 件名 | 佐賀県遺産に「鹿島城址にのこる松蔭神社」が認定されました |
| アピールポイント | 令和4年1月14日に開催された「令和3年度第22回佐賀県美しい景観づくり審議会」からの答申を受け、令和4年2月1日付けで「鹿島城址にのこる松蔭神社」が佐賀県遺産として認定を受けることになりました。 |
| 説明 | 名称: 鹿島城址にのこる松蔭神社 所在地: 鹿島市大字高津原460番地 員数: 7 (本殿、幣殿、拝殿、石垣、鳥居、石灯笼、狛犬) なお、今回の認定により鹿島市内の「佐賀県遺産」は建造物7件になりました。 |
| 別添資料 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |

本件に関する問合せ先

所属 建設環境部都市建設課

氏名 森田 慎

TEL 0954-63-3415

FAX 0954-63-2313

Mail toshi@city.saga-kashima.lg.jp

第22回佐賀県美しい景観づくり審議会 佐賀県遺産認定箇所

| 申請者 | 佐賀県遺産名 | 所在地 | 概要 |
|------|--|-------------|--|
| 鹿島市長 | <small>かしまじょうし</small> 鹿島城址 <small>の</small> こる <small>まつかげじんじや</small> 松蔭神社 | 鹿島市大字高津原460 | <p>松蔭神社は鹿島城址の一面に設けられており、1633（寛永10）年に初代鹿島藩主鍋島忠茂が祀られたことに起源をもつ。1741（寛保元）年に現在の北鹿島常広地区に松蔭神社が創建されて以来、歴代藩主の霊神が合祀され続けた。1804～1818年（文化年間）に鹿島城の移転とともに現在の高津原に移転した。藩政期における城の新築移転は珍しく、背景には度重なる洪水被害からの復旧に莫大な財政負担がかかっていたこと、外国船が頻繁に日本近海に現れる不穏な情勢の中長崎近辺の海防を意識していたことがあると考えられる。神社周辺には石垣や環濠など城時代の面影が残る。</p> <p>佐賀県遺産に認定されたのは、本殿、幣殿、拝殿、石垣、鳥居、石灯籠、狛犬の7件。</p> <p>松蔭神社周辺の一帯は「旭ヶ岡公園」として整備されており、県内有数の桜の名所。春には多くの花見客でにぎわう。</p> |
| |  | | |